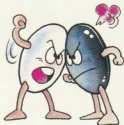
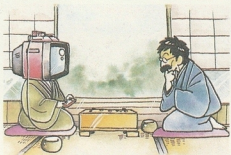
早打ち スーパー 囲碁
囲碁ソフトの決定版
囲碁ファン待望の本格的19路盤
高速思考で素早く打ち返してくるコンピュータ。誰でも楽しめる囲碁ソフト、ついに登場！
●自分のウデに合わせたランクで、コンピュータと対戦できます。
●囲碁の研究に役立つ「対戦道場」モード。豊富な機能を使ってウデを磨こう！
保証書在中
ファミリー コンピュータ™は任天堂の商標です。
本商品の輸出、使用営業及び賃貸を禁じます。
「遊び」をクリエイトする 株式会社ナムコ
〒146 東京都大田区多摩川2-8-5 ナムコット係 ☎03(756)7651
T4907892000575
© 1989 HOMEDATA/NAMCO LTD.
取扱説明書
namcot
早打ち スーパー 囲碁™
ファミリーコンピュータ™

このたびはナムコット・ゲームカセット「早打ちスーパー囲碁」をお求めいただきましてまことにありがとうございます。プレイの前にこの取扱説明書をお読みいただきますと、よりいっそう楽しく遊ぶことができます。

目次

早打ちスーパー囲碁™

「早打ちスーパー囲碁」はファミコン初の本格的な囲碁ゲームです。息づまる対局に加え「まった」、「仮打ち」などの多彩な機能もそなえ、あなたに挑戦します。さあ、あなたもこのソフトで自分の囲碁の実力を試してはいかが？

本格派の囲碁、登場！

「早打ちスーパー囲碁」は囲碁の魅力をじゅうぶんに生かしたファン待望のソフトです。初心者から上級者まで、どなたでも楽しめる趣向がこらされています。

◆ファミコン初の本格19路盤

本格的な19路盤で対局を楽しむことができます。もちろん13路盤も用意していますので初心者でも楽しめます。

◆スピーディなゲーム展開

コンピュータ側の対応時間が短いので、ゲーム展開がスピーディ。長く考えこんで、プレイヤーをいらつかせることがありません。

◆自分の実力に合わせてさまざまなランクに挑戦

本因坊戦、順位戦あわせて20の段位及び級位を用意し、あなたの実力にあったランクで対局することができます。

◆囲碁研究に便利な対局道場モード

「仮打」や「地合」などの機能をそなえた対局道場を用意しましたので、テレビの画面を見て囲碁の研究をすることができます。

コントローラーの使い方

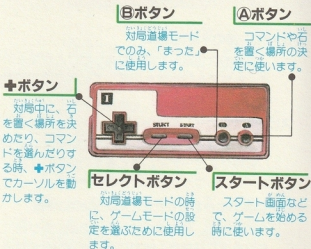
このゲームは実際の囲碁を忠実に再現しています。ゲームは、黒側が先手で黒白交互に画面上の碁盤に石を置いていくことで進められます。両者がパスをすると終局。勝敗の判定となります。

Ⓑボタン
対局道場モードでのみ、「まった」に使用します。

Ⓐボタン
コマンドや石を置く場所の決定に使います。

✚ボタン
対局中に、石を置く場所を決めたり、コマンドを選んだりする時、✚ボタンでカーソルを動かします。

セレクトボタン
対局道場モードの時に、ゲームモードの設定を選ぶために使用します。

スタートボタン
スタート画面などで、ゲームを始める時に使います。

対局中にコマンドメニューを使用する時はカーソルを使います。✚ボタンを右に入れ続けるとカーソルが碁盤右端からメニューへ移動します。

画面表示

「早打ちスーパー囲碁」の対局は、下のような画面で行なわれます。画面左側が実際に対局が行なわれる碁盤です。右側は対局中のさまざまな状況や特殊なコマンドを表示するメニュー画面になっています。

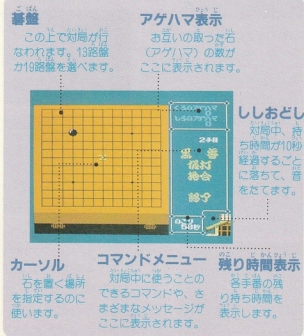
碁盤
この上で対局が行なわれます。13路盤か19路盤を選べます。

アゲハマ表示
お互いの取った石（アゲハマ）の数がここに表示されます。

ししおどし
対局中、持ち時間が10秒経過するごとに落ちて、音をたてます。

カーソル
石を置く場所を指定するのに使います。

コマンドメニュー
対局中に使うことのできるコマンドや、さまざまなメッセージがここに表示されます。

残り時間表示
各手番の残り持ち時間を表示します。

ファミコン本体にカセットを差しこみ、電源を入れてください。画面にタイトルとメニューが表示されます。プレイするモードを選んでスタートを押します。

●本因坊戦・順位戦の場合

本因坊戦、順位戦はあなたの実力を試す勝ち抜き戦モードです。順位戦は初心者向けで、あなたは先手となり、置き石（P.15参照）ありでコンピュータと戦います。本因坊戦は、順位戦とは逆に、あなたが後手。コンピュータ側の置き石があり、より難しい戦いとなるでしょう。

名前の入力

本因坊戦、順位戦をはじめる時はまず名前を5文字以内で入力してください。前のゲームの続きをする時は、前と同じ名前を入力してください。

「あんごう」の入力

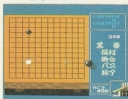
前回のつづきをプレイする時は、「あんごう」を正しく入力してください。初めてプレイするときは「おわり」を選ぶとスタートします。

●対局道場の場合

対局道場では、囲碁の研究ができるようにさまざまな機能が用意されています。また、このモードを選ぶことにより2Pプレイを楽しむことができます。さらに、本因坊戦、順位戦の対局を途中で中断した時も、対局道場で対局の決着をつけることができます。

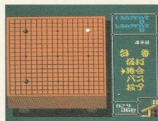
スタート画面で対局道場を選ぶと、画面がモード選択画面になります。好みのモードを選んで決定したら、スタートボタンを押してください。さあ、ゲームスタートです。

●対戦方法

ゲームは、黒白双方が、交互に石を1つずつ盤上に置いていくことによって進められます。自分の番になったら、画面上のカーソルを✚ボタンで動かしてⒶボタンで決定します。石は、すでに石が置かれている所と、禁じられている場所以外なら、どこにでも置くことができます。

●禁じ手

囲碁のルールで、置いてはいけない場所に石を置くことを禁じ手といいます。禁じ手になる場所に石を置こうとすると、警告音とともに「禁手」という文字が表示されます。そこには石を置くことができないので、他の場所に石を置いてください。

●コマンドメニュー

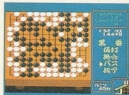
対局中に、「パス」などのコマンドを使う時は、✚ボタンを右側に入れ続けます。カーソルがメニュー画面に現れ、コマンド選択できます。

●制限時間

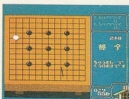
制限時間とは、一手を考えるのに許される時間のことで、10秒〜60秒とゲームによって異なります。制限時間はコンピューターによって自動的に数えられ、10秒ごとにししおどしが落ちて知らせてくれます。残り5秒になると警告音がなり、時間内に手を打たないと時間切れで負けとなります。

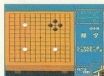
●対局の終了

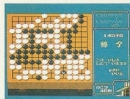
対局は、黒白双方のパス、投了、時間切れによって終了します。黒白双方のパスによって対局が終了した時のみ、勝敗判定画面に移ります。

1．両者が共に手番をパスした場合

このゲームでは、対局中いつでもコマンドで「パス」を選択することができます。また、コンピュータも打つ手がないと判断した場合手番をパスします。黒白双方が連続してパスすると対局終了となります。対局が終了すると、画面が勝敗の判定へと切りかわります。

2．投了

対局中、勝ち目がないと判断した時「投了」コマンドを選べば対局を終了させることができます。コンピュータも投了してくることがあります。

3．時間切れ

各手番には、ゲームによって10～60秒と決められた制限時間があります。制限時間内に手を打たないと時間切れであなたの負けです。

●勝敗の判定

両者が共にパスして対局が終了した場合、勝敗の判定が行なわれます。画面上で死んでいると思われる石に×印がつき「この石は死んでいますか？」と聞いてきます。「はい」と答えればその石は取り除かれます。その後「ほかの石は生きていますか？」と聞いてきますので、あなたが死んでいると判断した石をカーソルで指定しⒶボタンを押してください。死んでいる石がない場合、「はい」と答えれば勝敗の判定は終了し、対局結果が表示されます。

「早打ちスーパー囲碁」には本因坊戦・順位戦という2つの勝ち抜き戦と、対局道場のモードが用意されています。実力に合わせた対局をお楽しみください。

●本因坊戦

コンピュータを相手にした勝ち抜き戦で本因坊(最高位)を目指します。ランクは以下の表のとおりです。

段位	手番	置き石	制限時間
本因坊	後手（白）	9子	10秒
九段	後手（白）	9子	15秒
八段	後手（白）	8子	15秒
七段	後手（白）	7子	15秒
六段	後手（白）	6子	20秒
五段	後手（白）	5子	20秒
四段	後手（白）	4子	20秒
三段	後手（白）	3子	20秒
二段	後手（白）	2子	30秒
初段	後手（白）	0子	30秒

●順位戦

順位戦も本因坊戦と同様コンピュータ相手に戦う勝ち抜き戦です。順位戦ではあなたは黒番（先手）となり有利な条件でスタートします。最高位は一級です。囲碁に自信のない方は順位戦から始めるとよいでしょう。

級位	手番	置き石	制限時間
一級	先手（黒）	0子	30秒
二級	先手（黒）	2子	30秒
三級	先手（黒）	3子	30秒
四級	先手（黒）	4子	30秒
五級	先手（黒）	5子	60秒
六級	先手（黒）	6子	60秒
七級	先手（黒）	7子	60秒
八級	先手（黒）	8子	60秒
下っぱ	先手（黒）	9子	60秒
犬	先手（黒）	9子	60秒

●対局道場

囲碁の実力をつけるにはもってこいなのがこの「対局道場」です。初心者は13路盤でゲームのコツをつかむこともできます。囲碁の初歩を学びたいという人は、まずこの「対局道場」から始めましょう。

対局道場は本因坊戦や順位戦とは異なり、さまざまな状況での対局を自分で設定して楽しむことができます。対局道場を選ぶと下の表のようなメニュー画面が表示されますので、自分のプレイしたいモードを✚ボタンとセレクトボタンで決定します。セットし終えたらスタートボタンを押してください。対局開始です。対局道場では2Pモードにして2人で遊ぶこともできるようになっています。この場合は白番（後手）の人は2Pコントローラーで操作してください。

碁盤	●13路盤　●19路盤
相手	●対コンピュータ　●対プレイヤー
手番	●先手（黒）　●後手（白）
置石	●置石あり　●置石なし
置石数	●2・3・4・5・6・7・8・9
時間	●60秒　●30秒　●20秒

●置き石

囲碁では実力に差がある人が対局する場合、「置き石」と呼ばれるハンデをつけます。実力が低い方の石を開始前にあらかじめ置いておくのです。置き石はその数によって置き方が以下のようになっています。

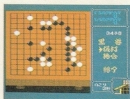
置き石は2コから最高9コまであります。写真のように常に黒番が置き、白番から始めます。

●対局道場での特殊な機能

対局道場には、「仮打ち」、「地合い」などの特殊機能が用意されていて、囲碁の研究に大変便利です。

●仮打ち

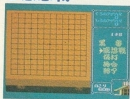
実際に手を打つ前に、盤上にいくつか石を置いて研究することを「仮打ち」といいます。対局道場では仮打ちコマンドを使っている間はタイマーがとまり、自由に石を置くことができます。やめる時は終了コマンドを選べば、ゲームに復帰できます。

●地合い

「地合い」コマンドを使えば、黒白双方の地所が×印で表示され、地所の目数がメニュー画面に現れます。「終了」でゲームにもどります。

●まった

「まった」は相手の打った手をキャンセルし、打ち直させる機能です。まったをかける時は、Ⓑボタンを押してください。「まった」をかける前に打たれた相手の石と、その前に打ったあなたの石が取り除かれます。何度もくり返せば、盤上の石を次々と取り除くことができます。「仮打ち」コマンドの使用中のまったは、石が１つずつ打った順番で取り除かれていきます。

また、2Pプレイ中も、まったをかけることができます。

●感想戦

感想戦は、対局がおわった後その対局を最初からふりかえるときに便利なモードです。これを使うと、その対局を一手目から再現することができます。

Ⓐボタンを１回押すごとに一手ずつ石を置いていき、Ⓑボタンで一手ずつ戻ることができます。

●感想戦での地合、仮打ち

感想戦の途中でも、通常の対局と同じように仮打ち、地合コマンドが使えます。カーソルで選択してください。

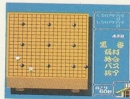
●感想戦の終了

感想戦は、「終了」コマンドを使うことによっておわらせることができます。終了後はタイトル画面に戻ります。

対局中のリセット

「早打ちスーパー囲碁」では、対局中にポーズをかけることはできません。対局を中断したい時はリセットを押せば、電源を切らないかぎり、「対局道場」の「対局続行」を選ぶことによって、リセットを押した時点から、対局を再開できます。

●感想戦でのリセット

感想戦の途中でリセットを押すと、リセットを押した時の状態がコンピュータに記憶され、「対局続行」でその状態からの対局になります。

●本因坊戦、順位戦でのリセット

本因坊戦や順位戦で対局中にリセットボタンを押すと、その対局は「対局続行」で続けることができますが、勝ってもあんごうはもらえません。

日本に古来から伝わる囲碁。将棋と並んで人気の高い机上のスポーツがついにナムコットのラインナップに加わりました。本格的な19路盤で、囲碁の初心者の方もベテランの方も思うぞんぶん囲碁を楽しんでください。

使用上の注意

- ●カセットを交換するときは、必ず電源を切ってください。
- ●精密機器ですので、極端な温度条件下の使用や保管、強いショック等は避けて下さい。また、絶対に分解はしないでください。
- ●端子部に直接ふれたり、水にぬらしたりしないようご注意ください。